

## マレーシア日本国際工科院 (Malaysia Japan International Institute of Technology) 概況

## 設立の経緯

## ○概要

マレーシア日本国際工科院(MJIT)は2011年にマレーシア工科大学(UTM)の一学術機関としてUTMクアラルンプールキャンパスに設立された。日本政府は本邦28大学、2研究機関から構成される大学支援コンソーシアムを構築、円借款による機材整備に加え、2013年からJICAプロジェクトも開始され、教育、研究能力の向上、産学連携促進等を進めている。2022年2月現在、学部4学科、大学院5専攻が設置され、96名の教員、1253名の学生が在籍している。

MJITでは、日本式工学教育の理念に基づき、研究室単位での協同的な研究を実施する研究室(iKohza)教育を導入、21の講座を立ち上げ、日本の大学との活発な共同研究や人材交流を実施。また学部でも実践的な技能獲得を目指した実習授業、日本企業へのインターンシップ、日本語の習得(日本語検定3級目標)にも努めている。卒業生の就職率はほぼ100%、多くの学生が日系企業に就職し日本を含めた世界で活躍中。

## MJIT 概要

○設立年:2011年9月

○構成:学部4学科、大学院5専攻

○教職員数:教員96名(日本人7名)、職員:25名

○学生数:学部757名、大学院496名、合計1253名

○留学生:学部78名、修士28名、博士54名、合計160名

○日本側コンソーシアム:28大学、2研究所

○JICA関係者:専門家3名、JICA海外協力隊1名

## 沿革

2001年:ASEAN+3サミットにて小泉首相(当時)、マハティール首相(当時)で日本型の大学設置を合意。

2005年:マレーシア工科大学(UTM)内に「マレーシア日本大学センター」が設置

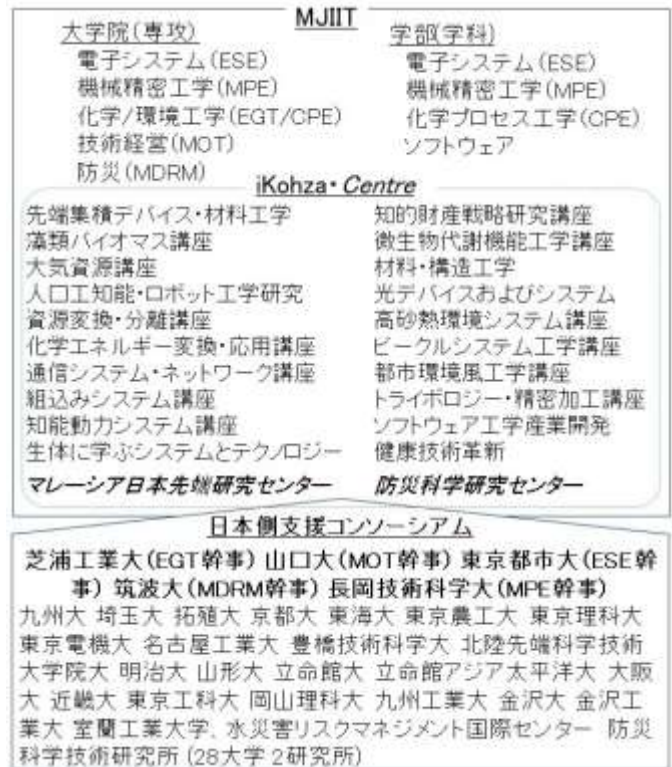
2010年:UTMのもとに独立性の高い学術機関として「国際工科院」として設立することに合意。同年、日本でも設立支援大学コンソーシアム準備会合が開催

2011年9月:MJIT開講

2018年2月:Prof.Dr.Ali Selamatが3代目院長就任

2020年:Software Developmentコース(学士)、Cyber Securityコース(修士)が開講

## MJIT 構成図



## 学生数(2022年2月現在)

## ○在籍数(学部)

( )は留学生数

学部	1年	2年	3年	4年	計
電子システム工学(ESE)	49 (1)	59 (8)	64 (6)	54 (1)	226 (16)
機械精密工学(MPE)	50 (1)	64 (4)	77 (7)	46 (1)	237 (13)
化学プロセス工学(CPE)	54 (1)	68 (4)	51 (3)	59 (1)	232 (9)
ソフトウェア	38(21)	16(11)	8(8)		62(40)
					757(78)

## ○在籍数(大学院)

大学院	修士	博士	計
電子システム工学(ESE)	37(3)	72(19)	109(22)
機械精密工学(MPE)	53(2)	85(13)	138(15)
環境・化学(EGT/CPE)	73(18)	61(9)	134(27)
技術経営(MOT)	40(2)	39(13)	79(15)
防災(MDRM)	24(0)	-	24(0)
JOINT Degree Program	12(3)	-	12(3)
			496(82)

## 教育プログラム実績

- 単位認定プログラム(学部)**: 山口大、筑波大、芝浦工大、大阪大、東京農工大、金沢工大と実施
- 協同指導プログラム(大学院)**: 37 大学・研究機関と実施。
- 学生交流プログラム(派遣)**: Student Mobility プログラム(UTM)、さくらサイエンスプログラム(JST)、イノベティブアジアプログラム(JICA)他
- 学生交流プログラム(受入)**: 東京農工大、筑波大、長岡技術科学大、奈良先端大、明治大学、他多数
- 学位認定プログラム(大学院)**: 筑波大(ジョイント修士・国際連携持続環境科学専攻プログラム)、山口大(ダブル修士・山口大学大学院技術経営研究科への編入)
- 共同講座**: 国際連携知財講座(山口大)、JASTIP-MJIT 連携防災研究センター(京都大)
- インターンシップ**: マレーシア国内 193 名、日本国内 27 名

## 国際連携

- 人事交流**: クロスアポイントメント(山口大 1 名)、教員派遣(東京都市大 2 名)
- 学術協定(日本)**: 30 大学
- 学術協定(他国)**: 13 大学(インドネシア、タイ、スペイン他)
- サテライトオフィス**: 6 大学(筑波大、山口大、芝浦工大、明治大、九州大、徳島大)

## 研究実績

- 研究業績(Indexed のみ)**: 270 本
- 日本の大学所属教員との共著論文**: 49 本
- 学生との共著論文**: 154 本
- 特許**: 申請数 13 本、登録数 3 本(2021 年)  
(2020 年 8 月~2021 年 9 月実績 JICA 調べ)

## 産学連携

- 連携協力協定(日系企業)**: 11 社 ロームワコー、高砂熱学工業、日本電子、ダイキン、NTT-MSK、島津製作所、関西ペイント、関通、リバネス、日本工営、Delightex
- 寄付講座/共同ラボ**: 6 社 高砂ラボ(高砂熱学工業)、Nest Bio Venture ラボ(リバネス社)、関通 Robotics ラボ、Deligtex ラボ、ロームワコーラボ、Panasonic ラボ
- 共同研究**: INPEX、NTT-MSK、リバネス、三菱重工業 Asia Pacific、日立-Johnson Control Air Conditioning、日本工営他
- 受託研究**: 日本精工、日本板硝子、IHI、第一科学、デンソー、工技研究所、Segate、関西ペイント、関通他

- 研究助成寄付**: JACTIM、トヨタ、ホンダ、共和電器、高砂熱学工業、リバネス社、河合サウンド・技術音響振興財団、オイレ工業、出光、他
- 研究施設利用**: 日立化成(化学分析)、ダイキン(精密加工)、太田精工(精密加工)、パナソニック他

## JICA の支援

### ○マレーシア日本国際工科院整備事業【円借款】

期間: 2011 年 12 月~2019 年 5 月

円借款承諾: 2011 年 12 月 27 日

承諾金額: 66.97 億円(総事業費 201.79 億円)

実施機関: マレーシア工科大学(UTM)

事業概要: ①教育・研究用資器材一式、②コンサルティングサービス、③教育課程の設立運営、④日本留学生派遣、⑤校舎建設(①、②のみ円借款対象)

### ○マレーシア日本国際工科院整備プロジェクト【技プロ】

期間: 2013 年 7 月~2018 年 7 月

目的: 教育カリキュラム・講座の策定及び ASEAN 他国の大学と産業界との連携強化を支援することにより、日本型工学教育の特徴を生かした教育・研究の拠点としての MJIT の確立を促進し、産業界求める高い技術開発・研究能力と労働倫理を備える人材の育成を図る。

### ○マレーシア日本国際工科院整備プロジェクト2【技プロ】

期間: 2018 年 7 月~2023 年 7 月

目的: iKohza(研究室)による教育研究の確立、本邦大学との持続的な教育研究協力関係の構築、産学連携機能の強化により、MJIT における教育研究の強化を図り、ASEAN の産業界に貢献する人材の輩出に寄与。

### ○日本語教師の派遣【青年海外協力隊】

日本語授業の質の向上と文化活動の推進を目的に JICA 海外協力隊(日本語教師)を 2 名派遣中。派遣に際して、筑波大、拓殖大、立命館大と連携協定を締結。

## 今般の MJIT の取り組み

- 就職率向上**: 日本企業に特化したジョブフェアの開催、日本企業へのインターンシップ等を通じて高度技能人材としての日系企業・日本企業での就職率向上を目指す。
- JICA 若手研究員育成助成金**: 若手教員を対象とした日本の研究者との連携促進を目的とした研究助成を開始。

### 問い合わせ:

浜田恵美子(JICA プロジェクト/産学連携)

Mail: [hamada.emiko@utm.my](mailto:hamada.emiko@utm.my) Mob: +60-(0)11-1765 0062